



覇 志

西門川中学校だより 第9号

令和元年8月28日発行

文責 校長 後藤 直樹

夏休み終了。2学期の始まりです。

8月26日(月) 始業の日でした。生徒、職員全員、大きな怪我や病気もなく、元気にこの日を迎えられたことに感謝したいと思います。

今年は台風に翻弄されました。7月の終わりには、台風6号、8月初めには8号、お盆には、9、10号と続けて日本列島に接近しました。そのうち6、8、10号は上陸しました。幸い本校では、大きな被害はありませんでしたが、2学期は、台風や秋雨前線による大雨等に備えなければなりません。更生橋のライブ映像や河川水位を見ながらハラハラしなければならないのでしょうか。

2学期は、一番長い学期です。運動会がない分、学習文化発表会等に時間を費やすことができます。3年生には、中学校最後のそして、西門川最後の行事として一生の思い出になるような行事をつくっていくよう話をしました。



始業式で「夏休みに海、川または山に行った人？」と生徒に尋ねました。なんと、数人しか手が挙がりません。思わず「君達は何してるの？」と言ってしまいました。今の子供たちは、自然の中で遊ばないのでしょうか。確かにどこへ行っても「遊泳禁止、危ないからプール」なのはわかります。しかし、自然の怖さを知らないことも恐ろしいことです。



7月24日(水) 町一斉ラジオ体操の様子です。児童生徒、職員、地区の皆さんなど約100人の参加がありました。かどっぴー、がわっぴー、びろっぴーも来てくれました。



7月25日(木) 民児協の皆さんの学校訪問がありました。各地区に分かれてご意見を伺ったり、情報交換をしたり、とても貴重な時間でした。ありがとうございました。



7月27日(土) いきいき夏祭りが実施されました。多くの参加者があり盛大な祭となりました。

【9月前半のスケジュール】

- 9月 1日(日) PTA奉仕作業
- 2日(月)～3日(火) 課題テスト(2年)
実力テスト(3年)
- 4日(水) 生徒集会
- 6日(金) ものづくり体験教室
- 13日(金) 水辺調査
- 16日(月) 敬老の日

《編集後記》 夏休みは、児童生徒にとっては、座学では学べない様々なことを学ぶ重要な機会だと思います。暑いからと家に閉じこもって、勉強したり、ゲームをしたりしてばかりではだめです。自然の中に身を置いて、そこから何かを感じ取らなければならないと思います。私は、「全ての答えは自然の中にある」と考えています。それを発見したり、読み取ったりすることができるかどうか。人間にしかない大事な能力だと思います。知識や情報処理はAIにはどう逆立ちしてもかないません。感性や創造力をどう育てるか、重要課題だと思います。